

令和4年度

教員研修の高度化に資するモデル開発事業

成果報告書

テーマ1 教員研修の成果確認と評価モデルの確立に関すること

実施テーマ 子どもの学びの変容から見る、教員研修の成果指標と評価モデルの開発

令和6年3月

加賀市教育委員会

様式第 1 5（無断複製等禁止の標記）

無断複製等禁止の標記について

委託事業に係る成果報告書の無断複製等の禁止の標記については、次によるものとする。

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、加賀市教育委員会が実施した令和 4 年度教員研修の高度化に資するモデル開発事業の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続きが必要です。

令和 5 年 7 月 1 0 日付け
令和 4 年度教員研修の高度化に資するモデル開発事業
事業成果物

学校の話_をしよう

研修実施内容

日付	時間	タイトル	対象	人数	目的
7/26 (水)	15:00 -16:25	悉皆研修 夏季全体研修会	全小中学校	264名	・子どもを主役とする授業づくりにおける取り組みや、取り組んでいる中での面白さ・難しさなどを分かち合い応援し合える学校を超えた繋がりがりづくり
10/26 (木)	15:15 -16:40	山代小学校 公開授業後 全体会	任意参加者	約50名	・Be The Playerとしての実践共有、葛藤や悩み、喜びの分かち合い ・実践している先生もこれから実践する先生もエンパワメントされる ・今後も実践を振り返ったり子どもたちとの振り返りに使えるフレームを持ち帰る
11/6 (月)	15:00 -16:30	校長研修会	全小中学校 校長	22名	・Be The Playerの実践を可能にする心理的安全性の高い学校づくりについて考える ・学校経営者として出来る先生、子どもたち、保護者に対して行えること、自分自身の関わりについて考え持ち帰る
11/27 (月)	9:00- 10:30	教育委員会で語ろう	教育委員会 プロジェクトメン バー	9名	・Be The Playerを可能にする関わりや支援について考える機会 ・Be The Playerへのそれぞれの理解の共有、お互いの教育に対する想いの共有 ・これまでの振り返りと今後に向けてのアクションを考える
11/28 (火)	15:00 -16:30	実践者で語ろう	各学校1名(校長推 薦1名+希望者)	50名程度	・こどもを主役とする授業づくりの実践している先生方が前向きに進んでいけるような思いの共有
1/26 (木)	15:10 -16:00	シンポジウム	市内外の教育関係 者	約150名	・実践、成果報告 ・先生たちの変化が子どもたちの変化の関係につながる実践共有
2/16 (金)	15:00 -16:30	分校小学校 対話型研修	分校小学校及び近 隣小学校	約20名	・対話について体験しながら学ぶ ・子どもたちに届けたい対話・子どもに委ねる学びについて考える

7/26 悉皆研修 夏季全体研修会 アンケート結果

学校の話しよう

7/26実施 悉皆研修夏季全体研修会アンケート結果

加賀市 小中学校教職員夏季全体研修会 アンケート結果レポート

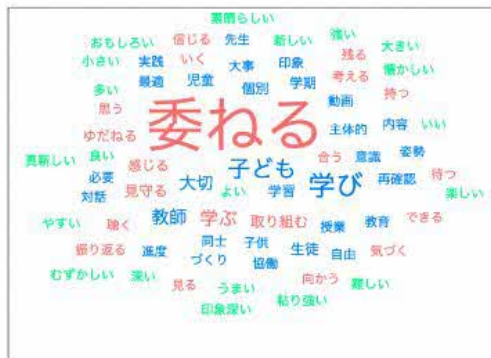
2023年7月26日実施

◇回答数

	校長以外	校長
小学校	156名	15名
中学校	88名	5名

(1) 第一部【講演】は、あなたにとってどのような気づきや学びがありましたか？

▼ワードクラウド*を使った分析



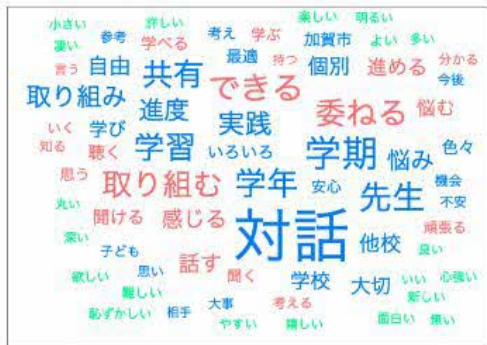
*User Localのワードクラウドを使用して分析。
スコアが高い単語を複数選び出し、その数に応じた大きさと色で図示。
色は品詞に対応。

▼回答内容の一部をピックアップして掲載

- ・ある程度生徒に「**委ねる**」ことも必要だということに気づいた。教師の声掛けが時に生徒の学びを止めていることもあると分かったので、注意して生徒と接していきたい。
- ・児童に委ねることの大切さ、児童同士の学びを信じ、教師が介入しすぎないことで逆に学びへ向かう姿勢が高まったり、深い学びができることを学びました。
- ・3つのうちのうち、委ねることは、日々意識はしているが、これからも実践をしていきたい。たくさん実践を紹介いただいたなかで、**自分達の取り組みと大きく変わらないと感じる物もあり、安心**できた。
- ・子どもに委ねる授業での教師の見取り、子どもが自分の学びのプロセスを書くふりかえり、子どもが見通しを持てる単元計画、異学年交流など、**本校の学校研究とリンクするところ**がたくさんあり、2学期からも取り組んでいこうと思いました。
- ・委ねる、許す、譲るをキーワードを知りました。学びのデザインという所で、**子どもが安心し、夢中でできる場の設定が大事**だと改めて感じました。子どもの心が揺れ動く教材の準備に力を入れ、委ねる授業創りをしていきたいと思いました。

(2) 第二部【Be the Playerワークショップ】は、あなたにとってどのような気づきや学びがありましたか？

▼ワードクラウド*を使った分析



スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで表示。色は音調に対応。

▼回答内容の一部をピックアップして掲載

・仲間がいる！

・4月からの悩みがやっと解決の糸口を、みつけた。2学期を楽しみに思う研修だった。

・相手の話を聴くうえで、いいか悪いか判断することよりも、まずは相手が言いたいことをしっかりと理解できるように、傾聴する姿勢が大切だと思った。そうすることで、相手との関係を築くこともできるし、相手との関係もより良くなるのではないかと思います。2学期が始まったら子どもたちにも「聴く」ということについてみんなで共有していきたい。

・学校ごとにアプローチが異なるのが面白いと思ったし、**もっと目に見える形でシェア**したいと思った。

・自己開示はその後の協働的な活動が活発になるかどうか重要なポイントになると感じました。

・他校の人たちの自由進捗学習の取り組み状況が分かり、**自分もトライしてみよう**と思った

・対話することの重要性が分かりました。子供たちとただ話すのではなく、「対話」ができるようにしたいです。そして、職員室でも話すことが大切！！ということを実感しました。

・ **思いを共有できることが、こんなにも気持ちが晴れるものなのか、少し子どもの気持ちが分かったような気がしました。**

・ワークショップ形式は楽しい。動ける、話せる。子どもも同じ。

・教育はその場その場で生成するものでなく 過去からの賢智の積み上げの元にさらに現職の教員のネットワークを構築して総力を持って挑むものであるという思いを強くした。また**同学年グループでの共有の機会が欲しい。**

・内に持っている思いを出し合うことで、深めたり広げたりすると実感した。授業もそうでありたい。また、えんたくんを初めて知った。顔を合わせ、一度に互いのメモを見合うことができ、ICTとはまた違う良さを感じた。

・加賀市には、すてきな若い先生がいっぱいいるんだな、加賀市は大丈夫だなと思った。

7/26実施 悉皆研修夏季全体研修会アンケート結果

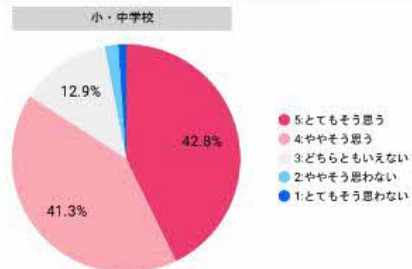
加賀市 小中学校教職員夏季全体研修会 アンケート結果レポート

2023年7月26日実施

(3) 第二部【Be the Playerワークショップ】での対話の体験はあなたにとって、意味や価値を感じる時間でしたか？

◆ 全体

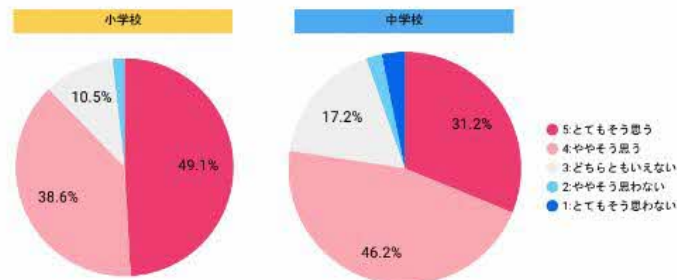
回答内容	校種 / 回答数
	小・中学校
5:とても思う	42.8%
4:やや思う	41.3%
3:どちらともいえない	12.9%
2:ややそう思わない	1.9%
1:とても思わない	1.1%



(3) 第二部【Be the Playerワークショップ】での対話の体験はあなたにとって、意味や価値を感じる時間でしたか？

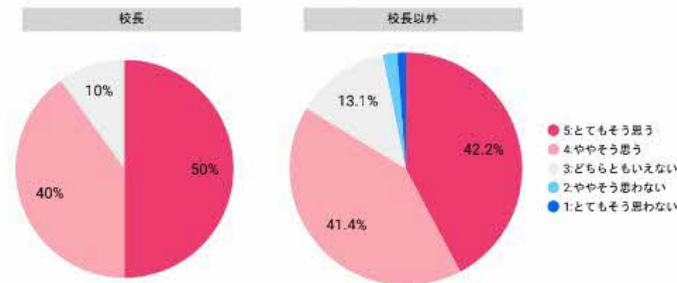
◆ 校種ごとの集計

回答内容	小学校	中学校
5:とても思う	49.1%	31.2%
4:やや思う	38.6%	46.2%
3:どちらともいえない	10.5%	17.2%
2:ややそう思わない	1.8%	2.2%
1:とても思わない	0%	3.2%



◆ 役職ごとの集計

回答内容	校長	校長以外
5:とても思う	50%	42.2%
4:やや思う	40%	41.4%
3:どちらともいえない	10%	13.1%
2:ややそう思わない	0%	2%
1:とても思わない	0%	1.2%

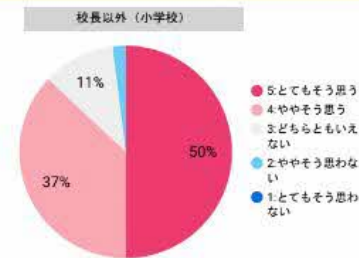
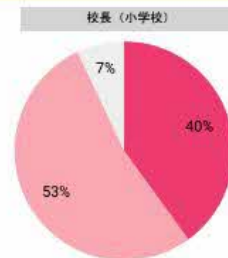


(3) 第二部【Be the Playerワークショップ】での対話の体験はあなたにとって、意味や価値を感じる時間でしたか？

◆ 校種×役職のクロス集計

小学校

回答内容	役職 / 回答数	
	校長	校長以外
5:とても思う	40%	50%
4:やや思う	53%	37%
3:どちらともいえない	7%	11%
2:ややそう思わない	0%	2%
1:とてもそう思わない	0%	0%



中学校

回答内容	役職 / 回答数	
	校長	校長以外
5:とても思う	80%	28%
4:やや思う	0%	49%
3:どちらともいえない	20%	17%
2:ややそう思わない	0%	2%
1:とてもそう思わない	0%	3%



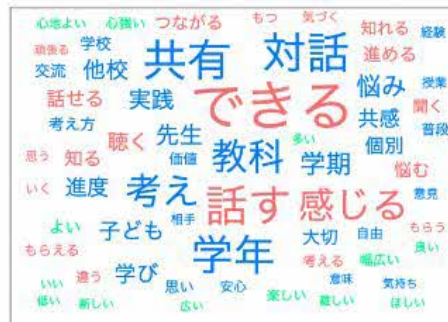
7/26実施 悉皆研修夏季全体研修会アンケート結果

加賀市 小中学校教職員夏季全体研修会 アンケート結果レポート

2023年7月26日実施

(3) 第二部【Be the Playerワークショップ】での対話の体験はあなたにとって、意味や価値を感じる時間でしたか？

▼ワードクラウド*を使った分析



*UserLocalのワードクラウドを使用して分析。
スコアが高い単語を複数選び出し、その数に応じた大きさで表示。
色は品詞に対応。

▼回答内容の一部をピックアップして掲載

- ・受け止めてくれる安心感のものと対話だからこそのいろいろ話すことができるとおもいました。
- ・子どもたちの対話を大切にするためにも、実際に教員同士で対話することができてよかった。
- ・自分自身も失敗を恐れずにがんばっていこう！やってみよう！という勇気ももらえた。
- ・わからないところを話し、その答えや過程を話すことでちょっととっかかりが見えてきた部分があります。でもしっかりとした答えはまだありませんが、とりあえずやってみようと思ってるんだな、と知れたのがまずよかったです。
- ・悩みの共有。考えていることの共有。この会はかなりよかったし、サイコーでした。元氣出ました！(o^o^o)
- ・対話することで相手の考えを知ることができ、さらにその考えについて質問したり教えてもらったり、思いを共有することができたりして楽しく、今後どのように進めていくか参考になりました。子どもたちも同じ様に対話を進めていけば、子ども自身の学びが深まり、次のステップにつながる活力が湧いてくるのではないかと思います。
- ・お互いの気持ちや考えをシェアすることでより「チーム感」がうまれた

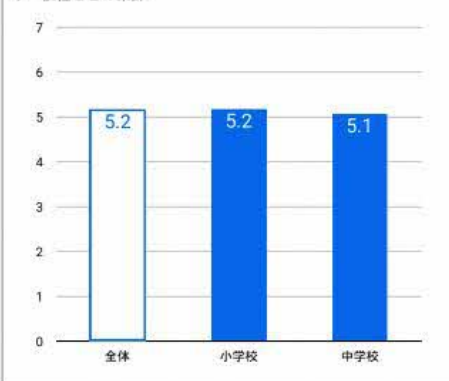
- ・それぞれの先生方の考えに共感したり、自分達が目指すところほどこの会を考えたことで今後自分達が子どもたちに何をしなければならぬかが明確になった。
- ・子どもに求めるには、まずは自分が実践し、よさを体感することで、より熱量をもって取り組んでいけると感じた。
- ・同じ学年授業をされてる先生方と、今の悩みを共感できたことが、不安解消にもつながったし、仲間ができた感じがした。
- ・自分の学校の考え方のみにしてしまい、狭く考えてしまうので他校と触れ合うことはとても良いことだと思います。
- ・聞くだけでなく、対話することで分かち合える点に価値があると感じました。授業においても意見を出し合うのではなく、共有できると楽しいと再認識できた。
- ・同じ目標に向かってがんばっていく仲間として、その人となりや考え方を知ることが、集団として目標達成のために重要になっていくと感じた。
- ・加賀市の教育の向かう方向が他の先生方から感じたことかよかった。委員会レベルではなく、他の先生方からの発信がよかった。
- ・安心感や、自分がやっていることは間違っていないんだと確認することができ、自信に繋がった。

7/26実施 悉皆研修夏季全体研修会アンケート結果

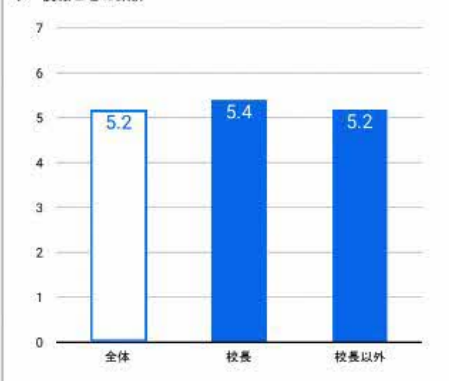
加賀市 小中学校教職員夏季全体研修会 アンケート結果レポート

◇ 心理的安全性

◆ 校種ごとの集計



◆ 役職ごとの集計



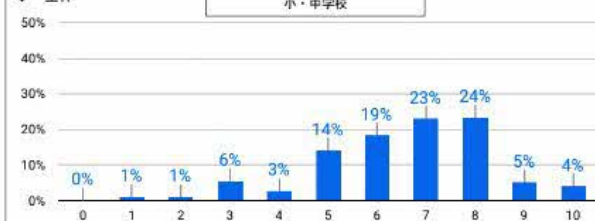
校種	Id	心理的安全性	回答者数
小学校	1	5.0	14
小学校	2	6.0	6
小学校	3	5.4	11
小学校	4	5.5	12
小学校	5	4.4	21
小学校	6	5.6	9
小学校	7	4.5	11
小学校	8	5.9	7
小学校	9	5.6	6
小学校	10	4.5	10
小学校	11	5.7	9
小学校	12	5.5	11
小学校	13	5.5	5
小学校	14	4.9	7
小学校	15	5.6	17
小学校	16	5.2	5
小学校	17	5.7	10
中学校	18	5.0	17
中学校	19	5.5	21
中学校	20	4.9	5
中学校	21	5.4	19
中学校	22	4.9	15
中学校	23	5.0	16

7/26実施 悉皆研修夏季全体研修会アンケート結果

加賀市 小中学校教職員夏季全体研修会 アンケート結果レポート

◇ 協働するチーム*

◆ 全体

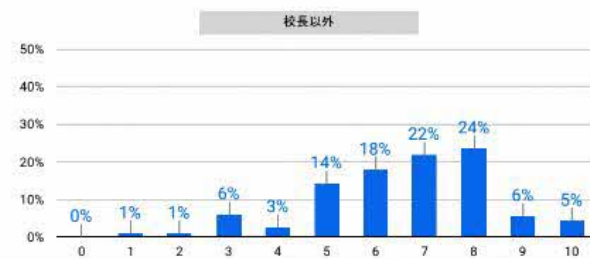
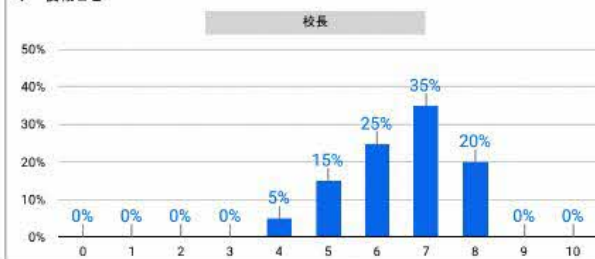


*最良の状態で10、最悪な状態で0として選択

◆ 校種ごと



◆ 役職ごと



10/26 山代小全体会 事後アンケート回答結果

学校の話しよう

山代小全体会事後アンケート回答結果

- ✓ 実施日：2023年10月26日
- ✓ 回答者数：36件
 - 内訳

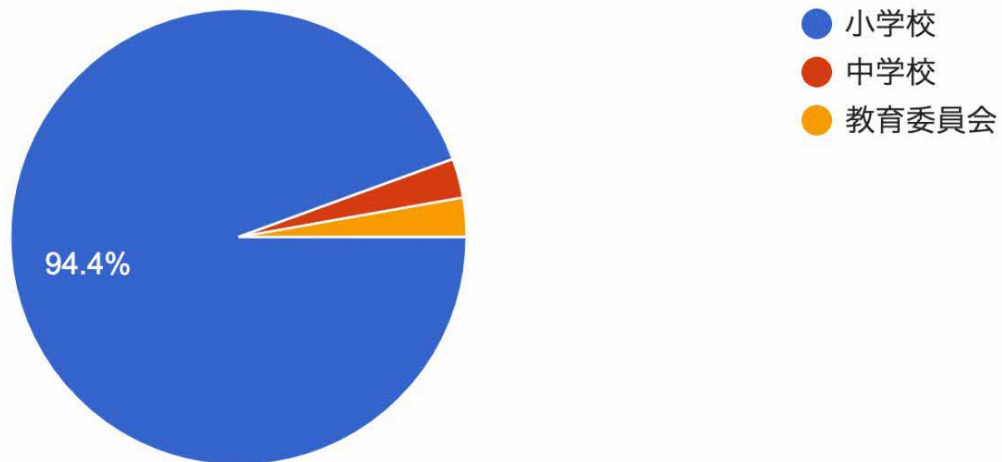
	回答者数
小学校	34
中学校	1
その他	1

	回答者数
加賀市内	33
加賀市以外の石川県内	2
芦屋市	1

山代小全体会事後アンケート回答結果

あなたの勤務する学校の校種についてお答えください。

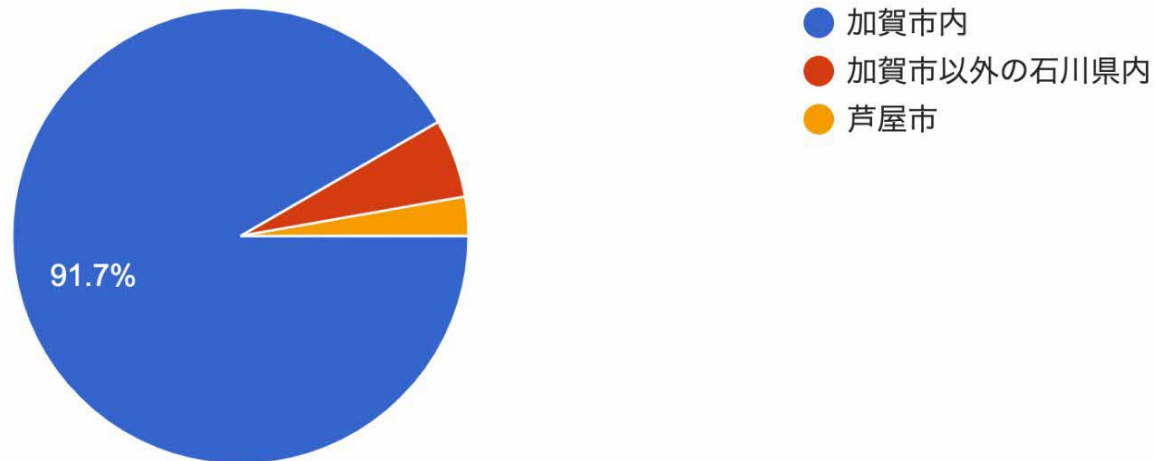
36 件の回答



山代小全体会事後アンケート回答結果

あなたの勤務する学校の所在地についてお答えください。

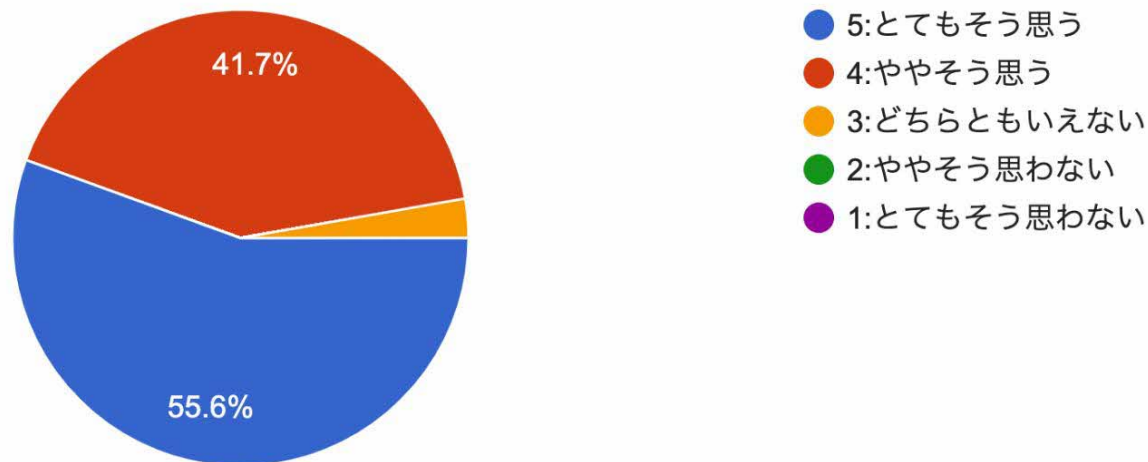
36 件の回答



山代小全体会事後アンケート回答結果

1:今日の公開授業および全体会（参加者との対話の時間）は、あなたにとって気づきや学びのある時間でしたか？

36 件の回答



山代小全体会事後アンケート回答結果

1-2:

上記の質問で5「とてもそう思う」、4「ややそう思う」と回答した方にお聞きします。

どのような気づきや学びがありましたか？

公開授業、全体会、どちらについてでも構いません。

できるだけ具体的にお答えください。

33 件の回答

- これからの授業づくりについて
- 話し合うことで新たな気づきがあったから
- 他の学校の先生方の実践を知ることで、自分の手立ての幅が増えたように思えた。
- 子どもや先生方同士での学び方やなぜ学ぶのかを共有することが大切
- 最後のlearnの時間の共有がよかったから
- **ICTの活用で、めあてを共有することでおなじめあての子ども同士でグルーピングできていることがすごいと感じた。**
- **個別最適、自由進度学習を行ううえで、さまざまな出立てを知りたいと思っていました。今日の授業では、その手立てをたくさん知ることができて大変勉強になりました。**
- ほかの学校の状況、先生方の実践を共有することができてよかったです。子どもたちにもう少し委ねる授業をしてみたいと思います。

山代小全体会事後アンケート回答結果

- 低学年で身につけるべき素地や方向性がより明確になりました。
- 若手がどのように考えているか
- 各クラスで学校で、自由進度学習等課題や困り感に試行錯誤しているなと感じられたので。
- 子どもの見取りをしっかり行うことの大切さを改めて感じました。
- 自分だけが抱える悩みではなかったんだと気づけたから。また、学びに関しては、それを解決する方法をみんなで考えられたこと。
- **自由進度でのICTの活用の仕方や国語のモデルがたくさん工夫されていた。実際の授業に取り組む姿も見れた。**
- 自分のもっているクラスで同じことをするのは難しいと思いましたがゴールを示すことが大切だと感じました。全大会での話し合いでも個別最適な学習をするにあたって土台づくりや関係性を大切にしていかなければいけないと感じました。
- 色々な先生方の取り組みを知ることができ、有意義な対話ができ
- 子どもに委ねるためには、学びの土台づくりが大切。また、交流の仕方や自分の学びを調整する視点をもつことを低学年時から積み上げる必要があるとおもいました。

山代小全体会事後アンケート回答結果

- 子どもに委ねることはとても勇気のいることだと改めて感じました。ただ今日子どもたちが教え合いながら学びに向かっている姿をみて、委ねるのは勇気がいるけど子どもたちにとって有意義な学習になるなら、委ねる場面も必要だなと思いました。明日からはもっと委ねるを意識していきたいと思いました、
- プレイルームや廊下の机など、学びの環境づくりが参考になりました。
- 若い人たちのエネルギーを感じることができました。これからの加賀市をあずけられそうです。笑
- みなさんと意見交流ができたことで、悩みの相談やもやもやがすこしスッキリしたように思います。
- 一人一人が友達と繋がりながら考えていた姿がとても素敵でした。
- KPTLは、活動や行事のあとに取り入れたいと思いました。
- その子にとってそのゴールが必要感のあるものなのか。
- 全体会で、今の困り感や、それに対しての具体的な手立て、また、理想の授業について語り合えたことがよかった。
- 改めて対話の重要性を感じました。子供たちが個人でもグループでもアウトプットを繰り返すことによって、自分の中で学びを蓄積していくことができているなと感じました。それは自分子供たちが個人でもグループでもアウトプットを繰り返すことによって、自分の中で学びを蓄積していくことができているなと感じました。それは自分自身のことをメタ認知しながら活動したり、学習を振り返ったりする環境が整っていたからだと思います

山代小全体会事後アンケート回答結果

- 子どもたちの持っている授業観を覆さないといけないこと。
- 自由進度の学び、心がけの学びがありました。
- みなさんが色々な悩みを抱えている中で前向きに取り組みたいという意欲を感じて、励まされました。
- 芦屋市からの先生の考えにふれたこと
- **授業のゴールは子供たちそれぞれのゴールを達成することだと改めて感じさせられたから**

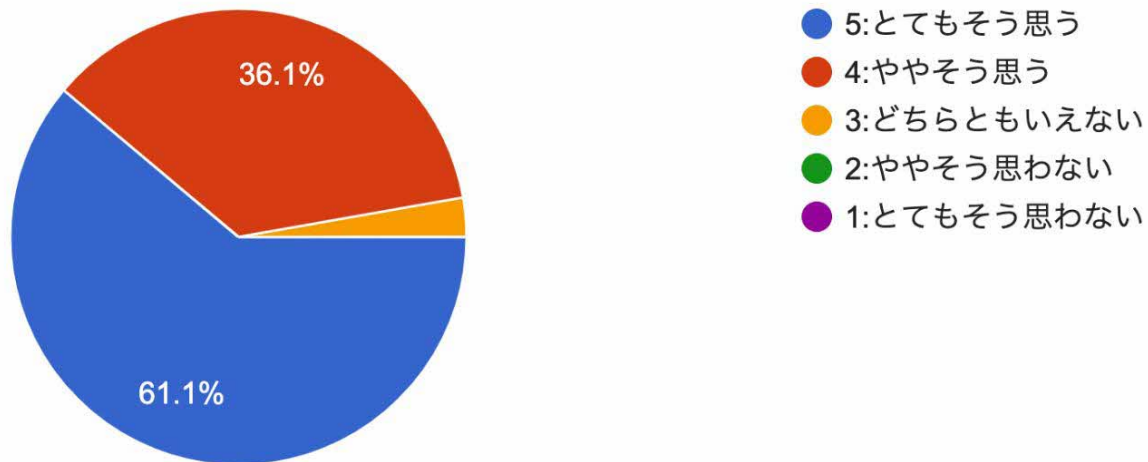
山代小全体会事後アンケート回答結果

- 加賀市以外
 - **自由進度学習を初めて参観しました。授業の進め方、子どもたちの学び方、全てが新鮮でした。全体会も、授業整理会ではない形だったので、そのやり方が参考になりました。**
 - 子どもに委ねる場面の設定と準備

山代小全体会事後アンケート回答結果

2:今日の公開授業および全体会（参加者との対話...あなたにとって意味や価値を感じる時間でしたか？

36 件の回答



山代小全体会事後アンケート回答結果

2-2:

公開授業、全体会、どちらについてでも構いません。そう思う理由をできるだけ具体的にお答えください。

33 件の回答

- 話し合う中でいろんなことに考える時間になったから
- 他の先生方と合流して、手立てや考え方などの新しい視点や気づきがあった。
- 色々な授業スタイルがあっていいんだと思わせてくれた
- 今の自由進度の授業を観られたから
- 普段相談しない他の学校の先生の意見を聞くことができてためになった。
- 自分の考えをざっくばらんに話したり、たくさんの人の考えを聞くことができてとても勉強になりました。
- ほかの先生方の取り組みと壁を共有できたことが学びでした。
- 教師の葛藤や不安を共有できました。
- 他校の取組を交流しきけた
- いろいろな学びが必要だと感じたから

山代小全体会事後アンケート回答結果

- 子ども自ら意欲的に学習に向かえるのはいいなと思いました
- 授業の実践を見られ、先生方の手立てなども参考になるものが沢山あったため。
- 他の学校の先生で、低学年の子どもが学びに向かう姿勢やそのための手立てについてのお話を聞けたため。
- 自由進度学習をしていくことに難しさを感じていましたが公開授業と全体会を通して挑戦していきたいと感じました。
- 色々な取り組みを知り、今後に活かせそうなものがあった
- 公開授業で自由進度学習を更にやってみたいと思った。現状で自分のクラスで行う際に課題があり、全体会でなにかヒントがあればいいなと思っていたが、特にヒントになりそうなことは対話からは見つからなかった。しかし、課題に直面しているといった状況や、どんな課題があるのかが共有でき、悩み相談ができた点はよかった。
- 同じように悩みがंबっている先生方と、思いを共有できたから。
- 初めて自由進度学習の授業を見ることができたので、とても価値がありました。
- どの先生も、最初の抵抗感を乗り越えてここまで来たことを感じました。共感できる部分が多かったからです。
- 東谷口が遅れていないなと感じることができて良かったです。
- 情報共有ができたことが一番良かったです。単元計画の大切さや、取捨選択の必要性を感じました。

山代小全体会事後アンケート回答結果

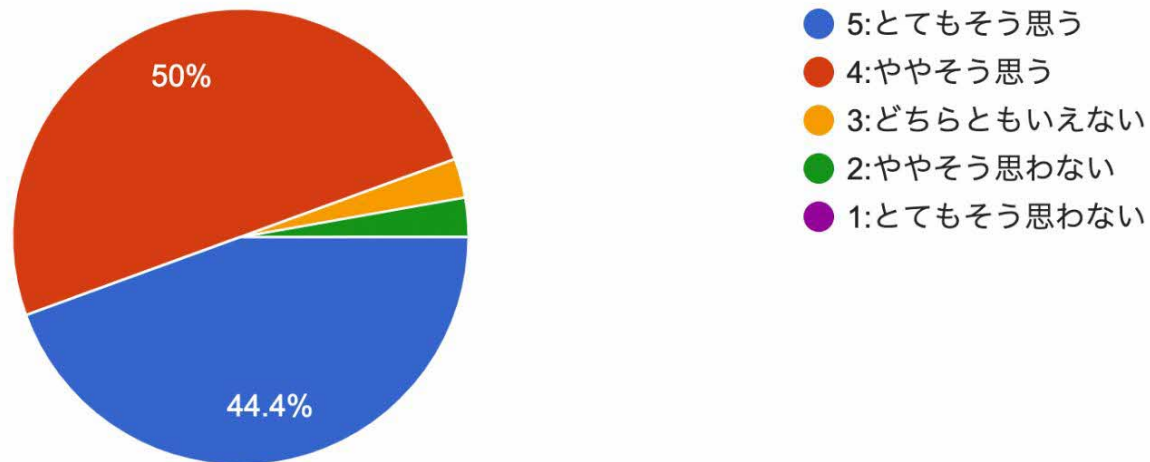
- 皆さんのお話を聞きながらいろいろ工夫させていることを知り、よかったです。いろいろなお話の中でもつながりを持つことを大切にしていきたいと思いました。
- 教師の抵抗感をなくして、子どもに委ねていきたいと思いました。
- 自分が授業を行って、個別最適で協働的な学びを実現するためにどうしたらよいかをじっくりと考えられたこと。
- 悩みや困っているところを、みなさんと語り合えたことが貴重だったから。
- 対話を重ねることで、考えが明確になってきた。
- 他の学校の様子や実践を少しでも共有できたので。
- 学級経営の中で、子供の気づきを育てる大切さがわかりました。
- これから更なる実践を積み重ねる上でいい勇気をいただきました。
- **社会、算数、国語と違った教科で同じように子どもたちに委ねた授業が見れて、比較できたから**
- **みなさんと情報を共有できたから**

山代小全体会事後アンケート回答結果

- 加賀市以外
 - 加賀市の教育の方向性がよく理解でき、共感できたから。
 - 自由進度をどのように取り入れていけばよいのか、ヒントをもらえることができました。

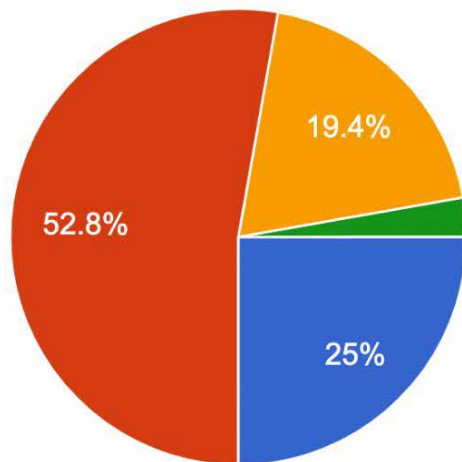
3:今日の公開授業および全体会（参加者との対話の時間）に参加して、子どもに委ねる学びについての理解が深まりましたか？

36 件の回答



4:今日の公開授業および全体会（参加者との対話の時間）に参加して、子どもに委ねる学びに関する自分自身の考え方や姿勢に前向きな変化がありましたか？

36 件の回答



- 5: とても思う
- 4: やや思う
- 3: どちらともいえない
- 2: ややそう思わない
- 1: とてもそう思わない

山代小全体会事後アンケート回答結果

4-2:

上記の質問で5「とてもそう思う」、4「ややそう思う」と回答した方にお聞きします。

子どもに委ねる学びに関するご自身の考え方や姿勢に対して、どのような変化がありましたか？できるだけ具体的にお答えください。|

24 件の回答

- 思ったより自校も子供に委ねられているなと感じた。
- みさなさんと意見交換できたから
- 子どもは自分の思っている以上に自分たちで学習を調整することができるということを痛感した。
- 今の取り組みをより良いものにしよう！という意欲が高まりました。
- 子供たちの姿を見て、もっと進んで取り組んでみようと思った。
- しなければならない、という意識からこういう力をつけたいという具体的な目標を持てました。
- できるスタイルから始められたらと思えたから。
- 子供に委ねる授業が今後増やせたらと思いました
- まだ、いろんな課題が自分の授業にはあり、実践も少しずつにはなるかと思いますが、先生方の話を聞けてチャレンジしていこうと思えました。

山代小全体会事後アンケート回答結果

- 子どもが分かったことを他の子に伝えたり、分からない子が友達に気軽に聞けたりする指導が大切だと思った。
- 子供達が自らの学ぶ授業がここまで進んでいること、しっかり実践できていることに驚いた
- 加賀市の教育がこのような方向を目指していることが分かったので、教師の意識を変えることが必要だと思いました。
- 工夫を凝らしながら委ねる場面を増やしていきたいなと思いました。
- ゆだねることはできるが、その細部を見とる力が教師には必要だなと感じました。
- なんでもかんでもやればいいというわけではないということ、軽重をつけることが大切と分かりました。
- 課題作りを大切にしていきたいです。
- **個別最適な授業をたくさん見させていただいて、勉強となっています。** どのような単元計画・教材研究、教材準備をすればいいのか、たくさん教えていただいています。ただ、トライする前に、ほかのことが優先となり(多忙のため)やりたい！できそう！やってみたい！と意欲がある分、取り組めていないこと・他の学校の先生と比べてしまうこと・子どもたちによりよい学びをさせてあげられないことで、正直つらい思いを感じています。その点でどちらともいえないとなってしまいます。

山代小全体会事後アンケート回答結果

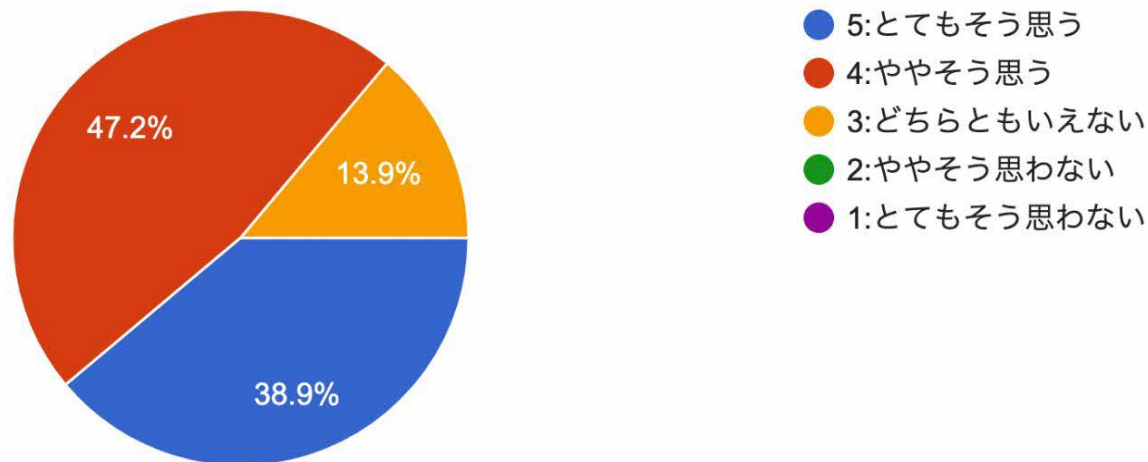
- こんな感じで進めていけばいいのかな？と実感できた。課題も見えたことで、これからまた頑張ろうと感じた。
- **授業の方法は大体は理解しているつもりだが、一時間を通してみんなが集中している姿に感銘しました。ICTの活用は必須であると感じました。**
- 委ねる勇気も必要。しかし、委ねた後にも子どもたちを指導するための手立ても必要。
- より一層、子どもを信じていける教師でありたいし、共通実践していきたいなと感じました。
- もともと前向きに指導しているため
- **授業の具体的な進め方がわかった**

山代小全体会事後アンケート回答結果

- 加賀市以外
 - 委ねるということにどうしても抵抗感が拭えない所がありますが、やりやすい科目や単元でチャレンジしてみようと思いました。

5:今日のような公開授業および全体会（参加者との対話の時間）は、今後のご自身（あるいは学校）の子どもに委ねる学びの実践に役立つと感じましたか？

36 件の回答



山代小全体会事後アンケート回答結果

5-2:

上記の質問で5「とてもそう思う」、4「ややそう思う」と回答した方にお聞きします。

どのように役立つと感じましたか？

できるだけ具体的にお答えください

25 件の回答

- **具体的な授業の進め方や教師の立ち位置について、実際の授業を見ながら学べた。**
- 学び方を子どもと考えてみたいと思った
- 明日からでもやれそうなことがあったから
- 今までの凝り固まった考えを解してくれたから。
- 話を聞くだけでなく、自分話することができるから。
- 完全に子供たちに委ねる授業をまだしたことがないのでこれから取り組んで行きたいと思いました。
- たくさんの先生方と交流することで具体的な実践の成果と課題を知れました。課題に対する tryと一緒に考えることで、自分にはない視点で前向きに考えることができました。
- 若手への声かけ配慮
- この授業のいいところと同時に、課題も見えたから

山代小全体会事後アンケート回答結果

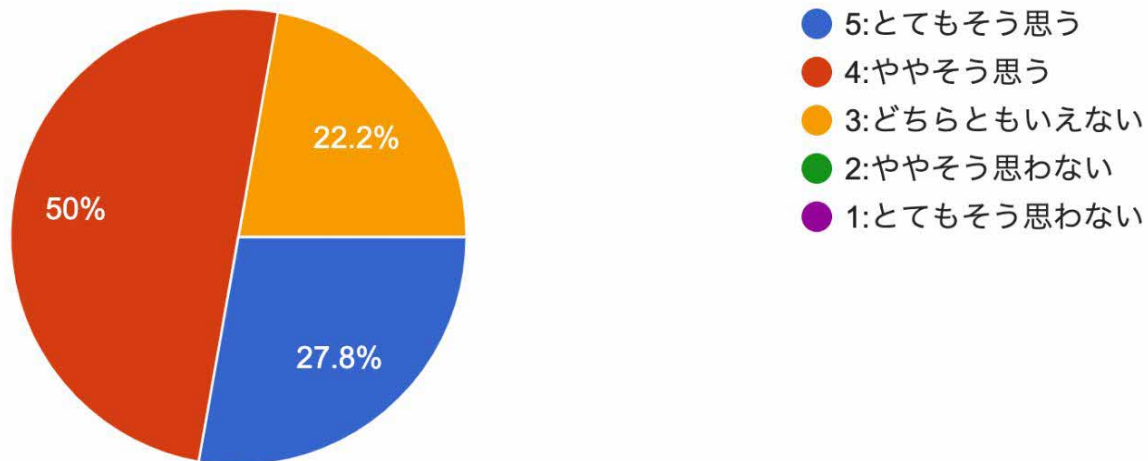
- 子どもたちが自分で考えて問題解決していける子に育っていけると感じています
- お互いの悩みに対する解決策を考えられたから。
- 色々な取り組みや同じ悩みがあることを知り、自分も頑張ろうと思った
- 委ねるという視点での自身の課題だったり、同じグループの人の課題について話すことができたからです。
- 若い先生方が多いので、今日の実践を伝え、今後の参考にしていきたいです。
- これまでやってたことが間違っていなかったなとかんじたので、これからみんなで協力してやっていかないと
- 具体像のイメージが持てました。
- 一人一人の子供をじっくり見ることが大切だと思いました。
- 様々な学習の仕方を受容したいと思いました。
- 考える機会になること。
- **子どもたちが一時間の授業の流れ、めあてをしっかりと把握していたことが素晴らしいと思ったから。**
- 自分の学校の子どもの実態に当てはめて、考えていけると感じた。
- **子どもが自分で学習を進められる手立てを取る。前準備がとても大切。**
- **単元計画等、学びを委ねるための教師の手立てを学べました。**
- 若い先生方や特支の先生の考えがわかったこと

山代小全体会事後アンケート回答結果

- 加賀市以外
 - 単元計画をたてる際に役立つと思います。

6:今回の参加で学んだことを、ご自身（あるいは学校全体で）の実践に活用できると思いますか？

36 件の回答



山代小全体会事後アンケート回答結果

6-2:

上記の質問で5「とてもそう思う」、4「ややそう思う」と回答した方にお聞きします。

いつ、どのような形で活用できそうですか？

できるだけ具体的にお答えください

19 件の回答

- 子どもと共有して、自分たちはどうしていこうか一緒に考えられそう。
- 学び方を共有できたらいいなと思う
- 自由進度を、書いてみようと思う
- 6年3組のICT活用は参考にさせていただきたいなと思った。
- 他の先生方に今日の学びを伝えます。
- いままで本格的な自由進度をとりいれたことがなかったので、比例と反比例の単元で取り組んでみたいと思います。
- これから行う授業で挑戦していきたい
- 目標の見通しを持たせたりやりたいことを持たせたりすること。
- 子供に選択させる授業を実践したい
- まずは教材研究をより深くして、子どもへの支援の仕方を考えていこうと思います。

山代小全体会事後アンケート回答結果

- 実践を始めているところなので、メリハリをつけながらしていこうと思いました。
- KPTLを活用したいです。
- これからも考えて取り組んでいこうと思えた。
- ICTを活用したいか。
- 子どもたちの学ぶ姿や目指す姿を共有すること。
- みなさんの悩みを自校で一步踏み切れない方の悩みだと思うので、どのように背中を押せば良いのか、考えるいい機会になりました。
- 子どもたちに委ねる部分をどこに設定し、そこに至るまでにそろえていかなくてはいけないことがあることがわかった
- 国語や理科の授業で活用したい

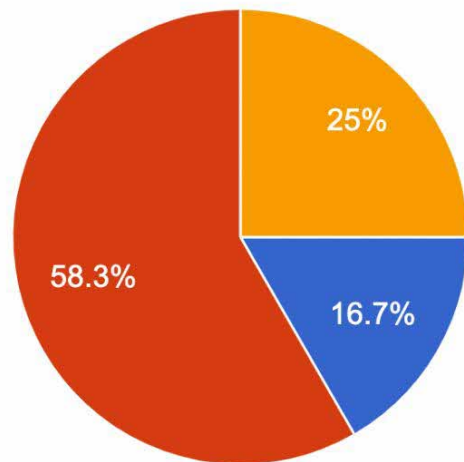
山代小全体会事後アンケート回答結果

- 加賀市以外
 - 少しずつできることで、委ねる場面を増やしていく提案はできそうです。

山代小全体会事後アンケート回答結果

7:あなた自身について伺いたします。あなた（あるいはあなたの学校）はどの程度子どもに委ねる学びの実践に取り組んでおられますか？

36 件の回答

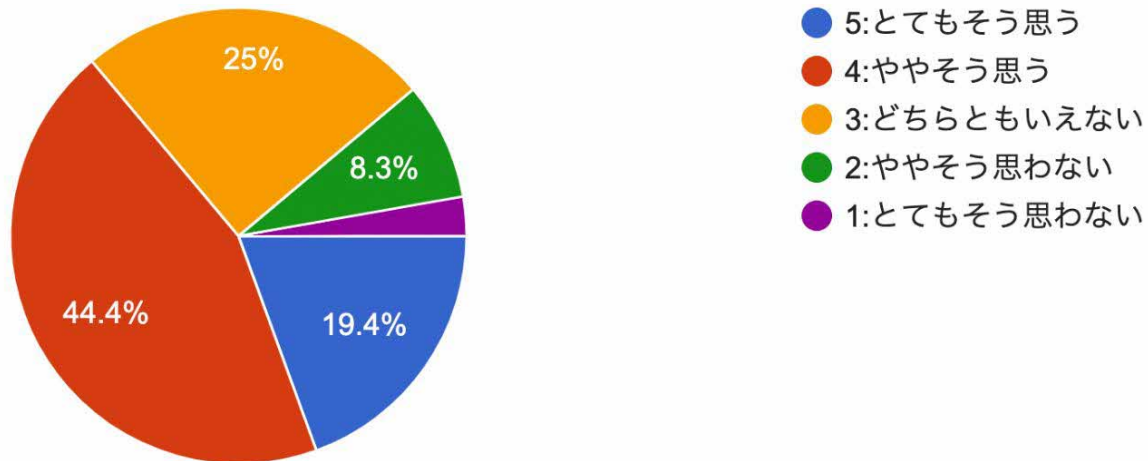


- 3:かなり実践の経験がある
- 2:実践を始めたばかりである
- 1:これから始めようとしている

山代小全体会事後アンケート回答結果

7-2:あなた（あるいはあなたの学校）はどの程度子どもに委ねる学びの実践に課題や不安を感じていますか？

36 件の回答



山代小全体会事後アンケート回答結果

7-3:上記の質問で5「とてもそう思う」、4「ややそう思う」と回答した方にお聞きします。
子どもに委ねる学びを実践するにあたり、ご自身（あるいは学校）が感じている課題や不安があれば、ぜひお聞かせください

21 件の回答

- 授業規律と自由さの両立
- 楽な方へ流れていきやすいので向上心を持って取り組んでくれるのか不安。
- 学びに向かう姿勢を持ってない児童が居ること、見取りの困難さに不安を持っています。
- 良さの確信が持てるほどの実績がないこと。
- 子ども一人ひとりに、力がつけられるのか
- ついていけない子が出てこないか心配
- 特別支援学級なので委ねる授業はなかなか難しい
- クラスの人数が少なく、グループで考えるといった形が取りにくい。協議の仕方や気持ち的な部分（聞くことやわからないことが悪いことではない）の指導をどうすればよいのかわからない。
- 子どもの学習状況を適切に見取り、確実に力をつけられるかが課題です。

山代小全体会事後アンケート回答結果

- 教員の準備がとても負担になりそう、教材研究がさらに大変になりそう、こどものやる気がないとできなそうという3点です。
- 学習に向かう姿勢がなかなか見られないところです。また、自己肯定感が低いところです。
- 委ねているイメージは持てるようになってきましたが、土台作りがまだイメージできない部分があります。
- 皆さんの取り組みをもっと知りたいと思っています
- 6年生は取り組んでいるが、学校全体や他の学年となると難しいかも・・・
- 授業に参加する意欲がない児童に対する支援方法で悩んでいます。
- 自分の手立て、経験不足
- 一人で悩む子がまだまだいる。その子たちと他の友だちをつなぐための手立てが必要。
- 低学年での実践は、学びの幅が広がっていいというが、不安。どう進めていくかを学びたい。
- 共通実践です。
- 子供の学びが集団授業に対して劣らないのか、子供の学習内容をこちらが把握できるのか

山代小全体会事後アンケート回答結果

- 加賀市以外
 - 理解が厳しい子たちが自分からやろうとするか、できる子がさらに向上していく意識をもてるか、それがなくなるような手立てや工夫ができるのかも不安です。

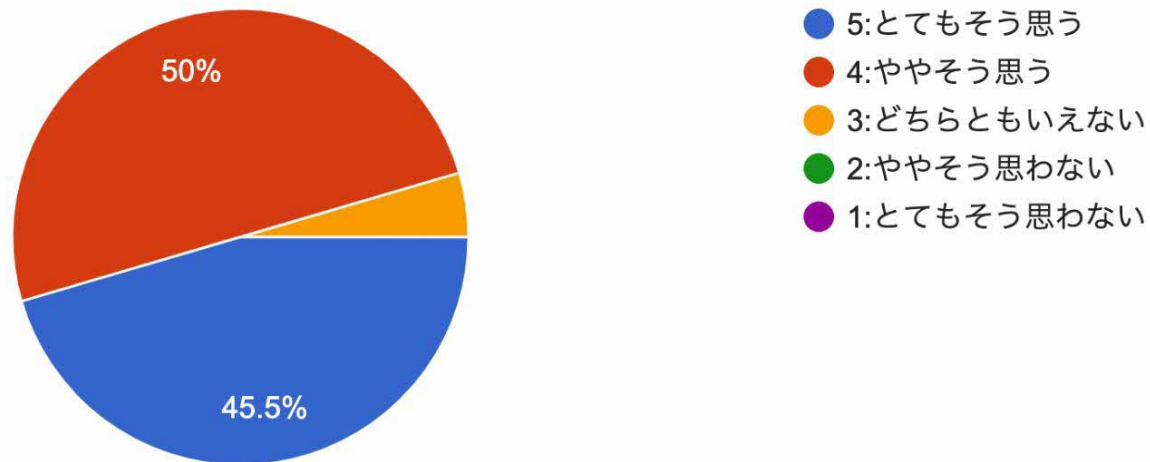
11/6 校長研修会 事後アンケート結果

学校の話しよう

校長研修会事後アンケート結果

1:今日の研修会は、あなたにとって気づきや学びのある時間でしたか？

22 件の回答



校長研修会事後アンケート結果

1-2:上記の質問で5「とてもそう思う」、4「ややそう思う」と回答した方にお聞きします。
どのような気づきや学びがありましたか？
できるだけ具体的にお答えください。

- 校長と校長以外の認識の差
- 明日からの自分自身の考え方
- 違いを共有できた
- 差が大きいということの意味
- 教育活動を行う上での心理的安全性とは...を考えてみたこと
- 校長と校長以外の教員の意識の差があること
- 共通することや、違う事でも、先生方それぞれが悩み、試行錯誤しながら取り組んでいる事
- 先生方も、心理的安全を求めている。そこから、実現することもたくさんある。
- 項目内容のの受け取り方は立場や人によってさまざま
- 自分の立場からの働きかけの大切さや言葉の重さをあらためて考えさせられました。
- 自分の学校運営などを考える機会となった
- 先生方にも、いろいろな場面でゆだねるという余裕が必要だと思った。
- 自分を振り返る時間になった
- 心理的安全性について、初めてしっかりと向き合うことができた。校長以外との差が生まれている要因を考える機会になった。

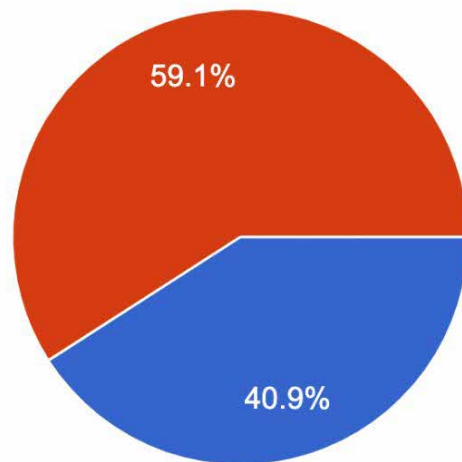
校長研修会事後アンケート結果

- 職員に伝えているつもりでも、実際は受け取り方が違っていたり、伝わっていないことが多いんだなあと感じました。やはり、日頃からの対話が必要だと思いました。
- 心理的安全性について、他の方の考えを聞きながら、考えられた。
- 同じデータを見てもいろいろな捉え方があり、それに対する考え方も様々だとあらためて気づいた。
- 生徒に協働的な学びを行っているのと同じく、我々も複数でデータを読むことが、多様な考え方の気づきや視点の広がりにつながった。
- 認識の差をどう埋めていくか
- 校長として、どこまでどうするか、職員の主体性を育む組織作り

校長研修会事後アンケート結果

2:今日の研修会は、あなたにとって意味や価値を感じる時間でしたか？

22 件の回答



- 5: とても思う
- 4: やや思う
- 3: どちらともいえない
- 2: ややそう思わない
- 1: とても思わない

2-2: と思う理由をできるだけ具体的にお答えください

- 挑戦への推奨についての考察
- 明日すぐに教職員とコミュニケーションをとります。
- 対話の大切さを再確認できた
- どうしてと言う問いは重要
- 管理職と他の教員との差を理解したこと
- 自分のこれまでを振り返る機会となった
- 同じ悩みの共有
- 違う思いや同じ思いを語り合えたから。
- また、頑張ろうという意欲が高まりました。
- 自分を振り替える機会となった
- 問1-2と同じ
- これまでの取り組みを振り返る機会となった
- 同じ立場で話し合えたこと。
- 校長同士、いろいろな考えを共有できたから
- 他の校長先生の捉え方も聞け、自分の気づかない視点での考えを知ることができた。

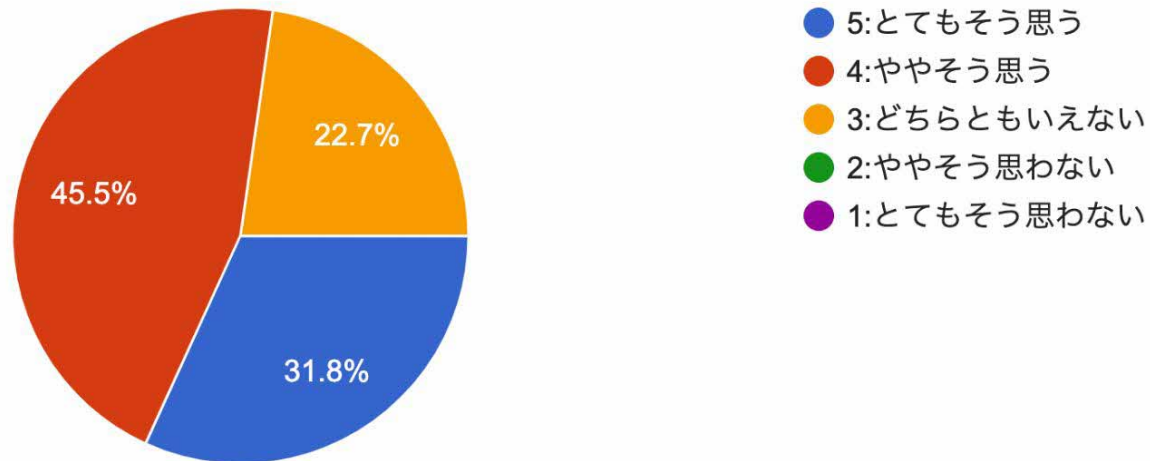
校長研修会事後アンケート結果

- 対話してみて、さまざまな校長先生の思いを聞くことができたから。
- 認知の差について、要因を探る時間になった。
- 心理的安全性を意識した職員への関わり方を考えるいいきっかけとなった。
- 自校の職員の心理的安全性について考える事ができた。
- 人と話すことで、自分の考え方の整理にも繋がった。
- データから見えてくるものを考えた
- 同じ校長の立場で、データをもとに、多面的に協議できたから

校長研修会事後アンケート結果

3:今日の研修会で学んだことを、今後のご自身の学校の組織マネジメント、個別最適な学びの推進に活用できると思いますか？

22 件の回答



校長研修会事後アンケート結果

3-2:上記の質問で5「とてもそう思う」、4「ややそう思う」と回答した方にお聞きします。
いつ、どのような形で活用できそうですか？できるだけ具体的にお答えください

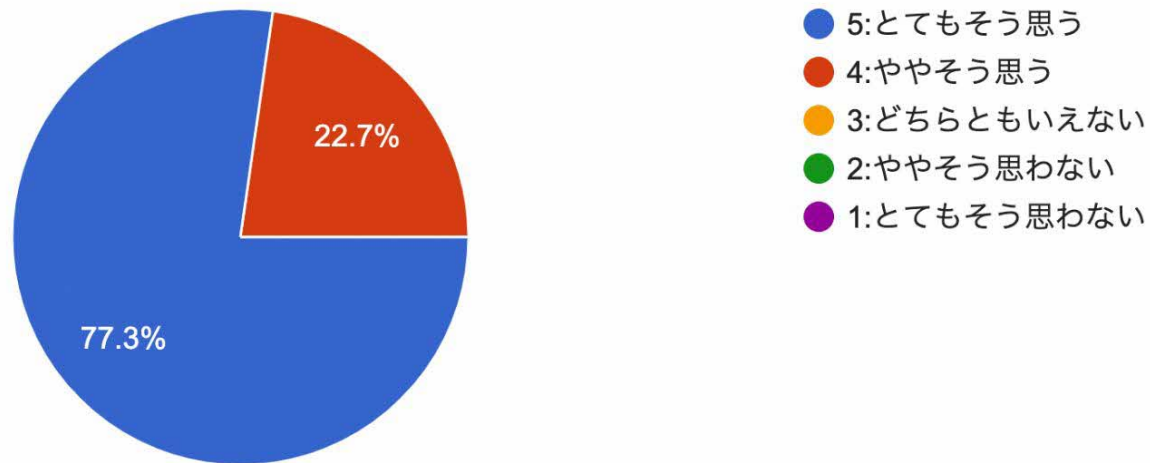
- 上記に同じ
- 組織の順序立に
- 個別面談での声掛け
- 失敗を恐れず、挑戦することの大切さを先生方に伝えて行くこと
- 組織的な取り組みにしていくこと。
- 先生方の様々なチャレンジを認めて行きたい
- 職員室に心理的安全や安定が生まれれば、それが学校や学校にもよい意味で大きく影響すると思うから。
- 自分の意識
- 日常の中。
- 職員と対話をすることで、組織マネジメントを実現できると考える。
- 改めてどんな学校組織にしていくか明確にする。また、職員の立場に立ち、教育活動や職員室の雰囲気を見つめ直したい。
- 明日からの授業

校長研修会事後アンケート結果

- 自分の普段の様子から気をつけたいことが見えたから。
- 組織づくり
- そう遠くない時期だと思うが、先生方や子供たちへの関わりに活用できると思う。
- いろいろな考えをどう活かしていくか
- 学校研究の推進にあたり、主任へ。職員への講和の場面で

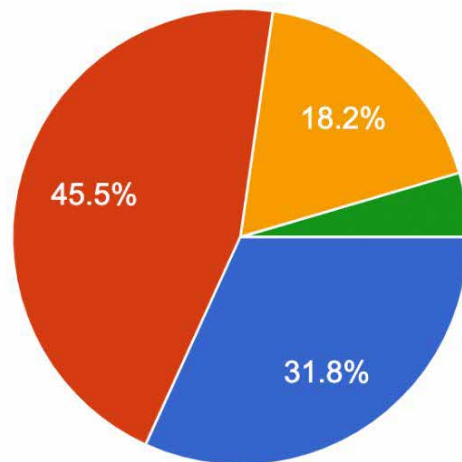
4:ご自身の学校で個別最適な学びを推進する上で、心理的安全性の向上は必要だと思いますか？

22 件の回答



5:ご自身の学校の心理的安全性を高める上で、難しさや課題を感じますか？

22 件の回答



- 5:とてもそう思う
- 4:ややそう思う
- 3:どちらともいえない
- 2:ややそう思わない
- 1:とてもそう思わない

校長研修会事後アンケート結果

5-2:上記の質問で5「とてもそう思う」、4「ややそう思う」と回答した方にお聞きします。
どのような難しさや課題を感じていますか？できるだけ具体的にお答えください。

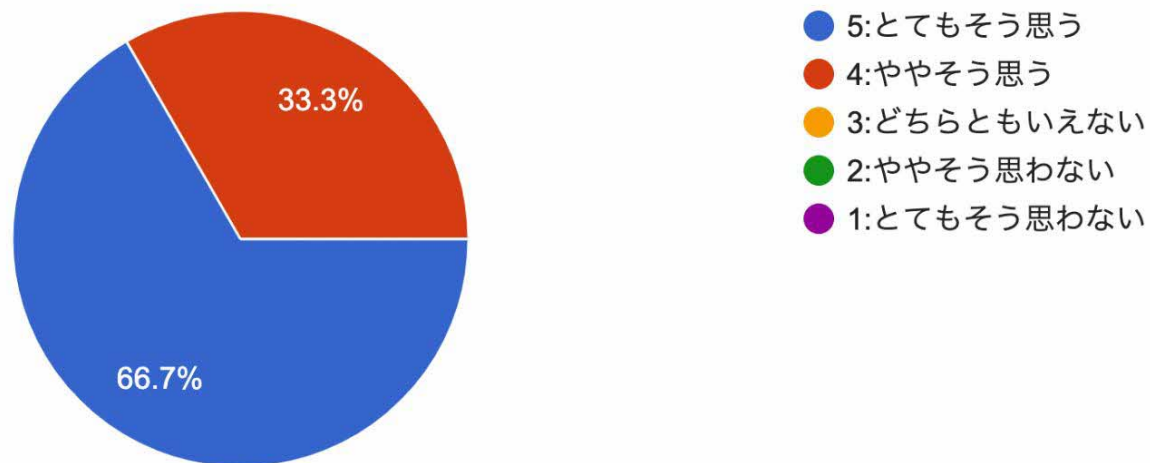
- いろんな考え方の職員がいるから。
- 個別をどう生かすか
- 教師個人の考え方の差をどう理解し合うか
- 自分にできるかというリーダーシップ
- 少人数での組織運営の難しさは、感じます。
- 個人個人でモチベーションが異なる
- いろいろな人の集まりなので
- 自分が思っていることと、職員が同じ地平に立っているかどうか不安ですが。
- 若手の自己開示に難しさがある。
- 個人によって感じ方や受け取り方が違うから。その人の性格によっても違うから。
- どう心理的安全性を高めていくか。子どもたちにもどう感じてもらうかが、難しく感じている。
- 全員の共通理解
- 教員の連携意識の高揚
- 先生方や子供たちが求めていることの把握がまだまだ難しいと感じる。
- 心のゆとりが新しい学びにつながる
- 中間層の多忙感。人員の少なさ

11/27 教育委員会で語ろう 事後アンケート結果

学校の話しよう

問1. 今日のワークショップは、あなたにとって気づきや学びのある時間でしたか？

6 件の回答



問1-2. 上記の質問で「5：とてもそう思う」、「4：ややそう思う」と回答した方にお聞きします。
どのような気づきや学びがありましたか？できるだけ具体的にお答えください。

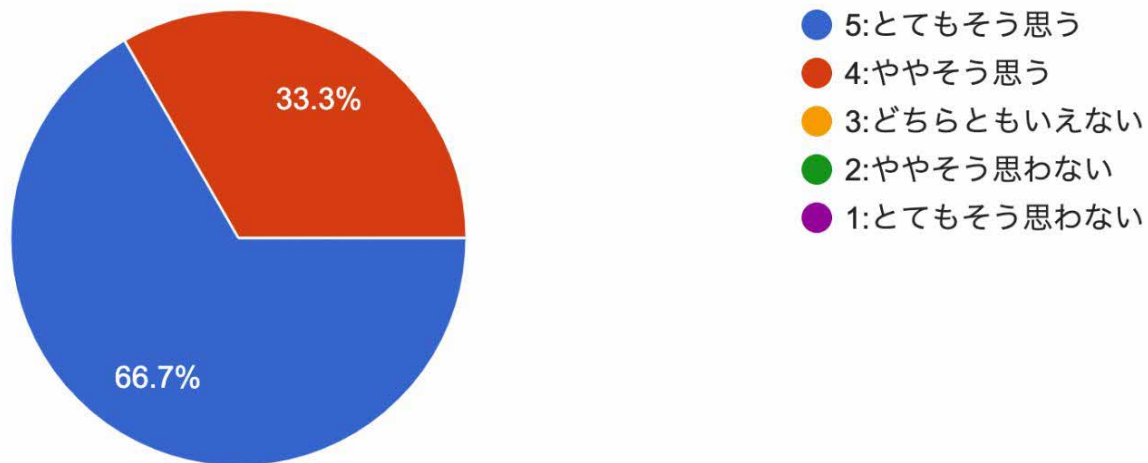
- テーマについてこの機会に確認と共有ができた。
- 初めて、他己紹介インタビューをして、相手の方の思いや素敵なところをあらためて知ることができた。また他の方のすごいところを知ることができて嬉しかった。
- 毎日、顔を合わせている方々でも、どのような思いで学校や先生方と関わっているかよくわかったから
- 自分に対する気づき：
- 思考のパターンが①自分の想定でやってみる→②情報収集→③課題分析・設定→④仮説→⑤実証
- ③までは自分でやった方が早いと思っている節があるので、最初は人の意見に合わせながら別の思考をしていることが多い。ヘリウムリングでも、広げかたみたいな対話でも、①の部分からの話をするのが苦手

問1-2. 上記の質問で「5：とてもそう思う」、「4：ややそう思う」と回答した方にお聞きします。
どのような気づきや学びがありましたか？できるだけ具体的にお答えください。

- メンバーに対する気づき:
- みんな最高に素敵なのは元々知ってたので割愛。ビジョンのゴール設定は2025なんだけど、確かにそのスコープでがっつり話をしたことあるのは教育長と望さんだけだなと思った。自分に対する気づきにも重なるけど、去年から今年にかけて上記①と②をやって、今年と来年で③と④のイメージで動いているので、自分が考えていることの共有というか対話をする場面を意図的に作らないともったいないなと思った。あと、やっぱり学校運営みたいな視点から考えても、宮本先生に入ってもらってよかったし、平塚先生とか島谷さんも入ってもらえばよかったと思った。
- 指導課のみなさんも伴走的な関わりをととても意識していること
- 宮本先生の組織という視点や山下先生の特別支援の視点
- 普段一緒に仕事をしている方とこのような形でお話する機会がなかった中、BE THE PLAYERについて対話し合えたことがよかった。思いや考え、方向性の確認ができたこと。

問2. 今日のワークショップは、あなたにとって意味や価値を感じる時間でしたか？

6 件の回答

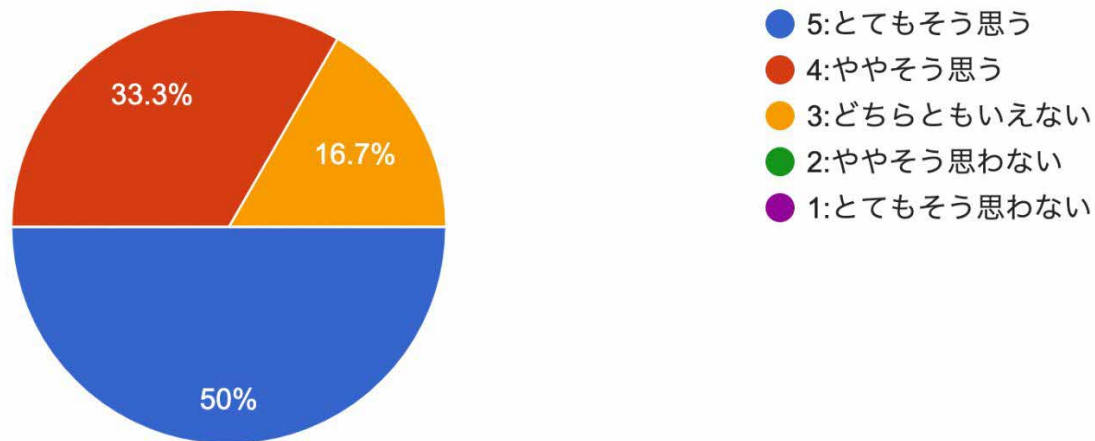


問2-2. そう思う理由をできるだけ具体的にお答えください。

- 人の意見を聞くことが楽しいと思えました。
- それぞれの思いを分かち合うことができたから
- 自分が気づけた部分はすごくよかったし、今後対話していく土台づくりとしても目的を達成したと思う。一方で、会をつくる段階で懸念していた部分やお互いの教育観みたいな根幹に広く深く触ったわけではないので。
- 多様な視点を得られた。みんなで同じものを見る経験ができた。
- 思いや考え、方向性を共有できたことが、加賀市教育ビジョンを推進していく上で、大きな推進力につながると確信できたから

問3. 今日のワークショップに参加して、一緒に働くメンバーの教育観や価値観、Be the Playerに対する思いをより深く知ることができましたか？

6件の回答

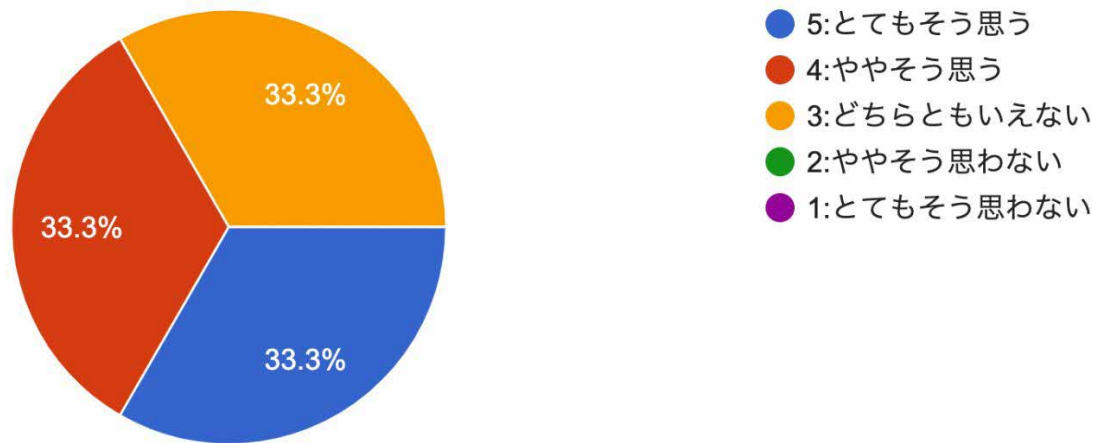


問4. 上記の質問で5「とてもそう思う」、4「ややそう思う」と回答した方にお聞きします。
互いの教育観や価値観などをより深く知ることができたことは、今後あなたの仕事にどのように役立ち
そうですか？

- 学校長などリーダーとの面談でベースとなる考えを理解し確認できたので、それを基本に面談していく。
- これまでの職種や今の立場の違いはあっても、加賀市の教育に対する共通した思いや願いが伝わってきました。自分の見方も皆さんの役に立つことがあると認識できたし、他の方々の視点の大事なことも理解できました。
- それぞれの方の強みを生かして、みんなでよりBe The Playerを目指していけることに役立つと思う
- （3だけど）インタビューよりもむしろ、模造紙に書いているタイミングでのじゅんこ先生や宮本先生の考え方に触れられたことがよかった。今まで遠慮したり気を遣っていた部分が、今後は減りそう。
- これまで以上に安心感・信頼感を持って一緒に仕事をするができるようになる。
- ビジョンについてどんどん話合って推進していきたい

問4-2. 今日のワークショップに参加して、加賀市教育ビジョン「Be the Player」に関する自分自身の考え方や姿勢に前向きな変化がありましたか？

6 件の回答



問4-2. 上記の質問で「5:とてもそう思う」、「4:ややそう思う」と回答した方にお聞きします。
どのような変化がありましたか？
できるだけ具体的にお答えください。

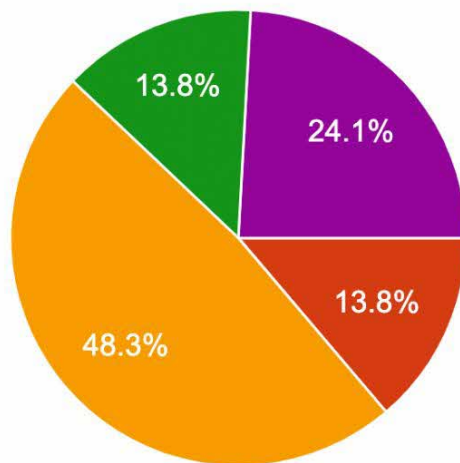
- 元々、理念は理解していたが、そこに自分のミッションに重ねる事ができそうです。
- 委員会の中で日々頑張っている方々と加賀市の学校について語る事ができたこと、仲間に入れてもらえたことが、仕事というより自分の生きがいのベクトルをあげてもらえた。
- いつも前向きですが、さらに前向きにもっと努力したいと思ったから
- (3だけど) ビジョンに対する姿勢への変化は特にはないけど、次のフラグをどの辺に立てたらよさそうかが見えた
- 前向きな話し合いにつながっていくと思う

11/28 実践者で語ろう 事後アンケート結果

学校の話しよう

あなたご自身について、以下から最も当てはまると思うものをお選びください。

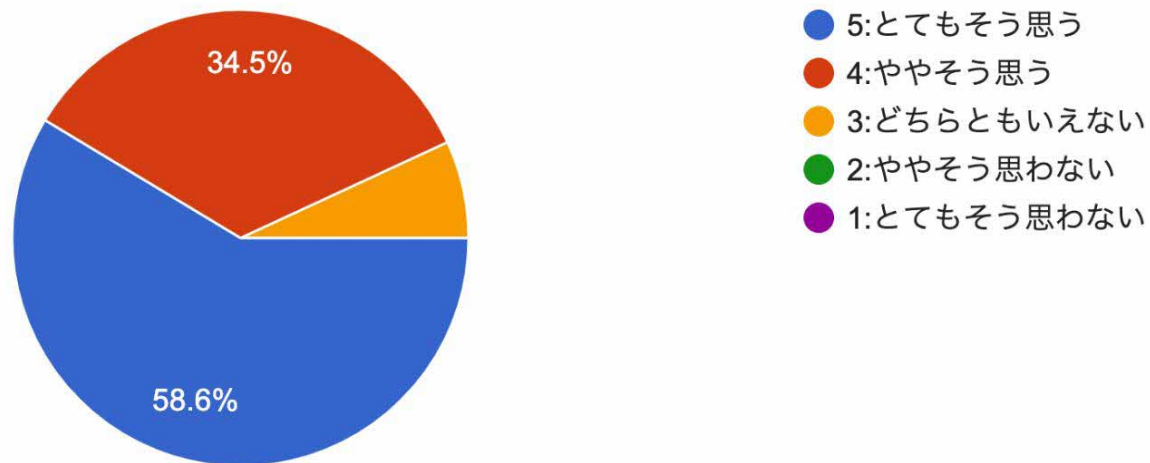
29 件の回答



- 「子どもに委ねる授業」の実践をこれから始めようとしている
- 「子どもに委ねる授業」の実践を始めたばかりである
- 「子どもに委ねる授業」の実践の経験がある（例：意識的に何らかの教科・単...
- 「子どもに委ねる授業」の実践のかなりの実践経験がある（例：毎時間のよう...
- 自分自身が実践しながら、周りの先生と協働して「子どもに委ねる授業」を校...

問1. 今日のワークショップは、あなたにとって気づきや学びのある時間でしたか？

29 件の回答



実践者で語ろう アンケート結果レポート

実践者で語ろう アンケート結果レポート

問1-2. 上記の質問で「5：とてもそう思う」、「4：ややそう思う」と回答した方にお聞きします。
どのような気づきや学びがありましたか？できるだけ具体的にお答えください。

- いろいろな取り組み方法があるということが分かりました。
- 他校の先生方の思いや実践をすることができた。
- 学校全体で積極的に取り組むと効果的であることや、とりあえずやってみる気持ちの大切さを再確認しました。
- みなさんと悩みを共有し、他の方からアドバイスをもらうことができました。
- 小学校の先生方の話を聞くことができて、小学校ではこうした取り組みが進んでいるということが再確認できたこと。
- これから先子供達の学びをさらに広げるためには校内での共有が必要だと感じたから
- いろんな実践をしている方々と対話をすることができたから
- 自分の知らない話を聞いたから
- その教科でもそんな方法でできるんだ！おもしろそう、やってみたいなと感じたからです。
- 実践されている生の声を聞け、実践しての成果や課題まで聞いたので自分の授業にすぐ取り入れられそうだととても学びになりました。
- 自分のやっている実践の方向性は間違っていないかなと再確認できたこと。

実践者で語ろう アンケート結果レポート

実践者で語ろう アンケート結果レポート

問1-2. 上記の質問で「5：とてもそう思う」、「4：ややそう思う」と回答した方にお聞きします。
どのような気づきや学びがありましたか？できるだけ具体的にお答えください。

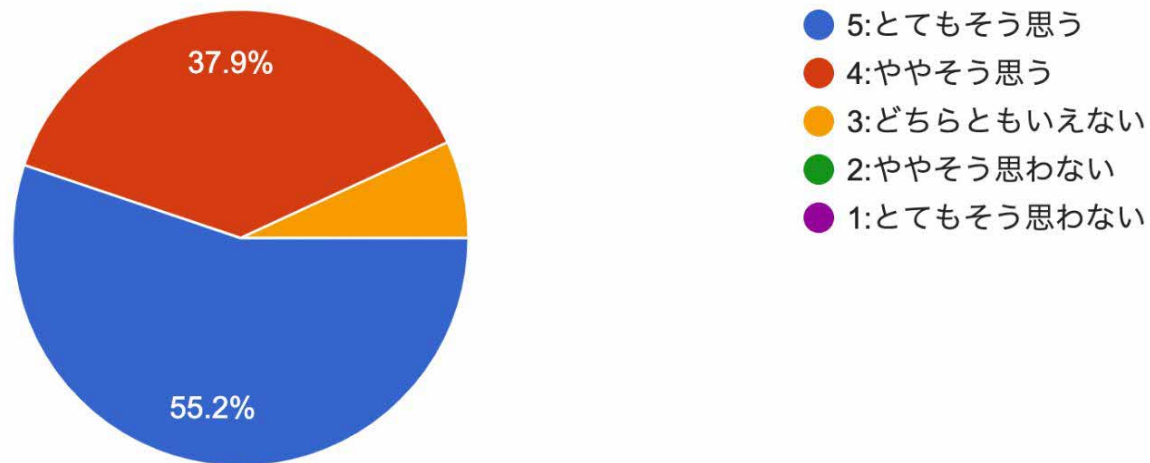
- 今の取り組みに不安を覚えることもあるが、多くの先生方の実践等を知ることで、今の取り組みをまた進めていこうと思うことができた。また、今の取り組みを検証し、子どもの学びの深まりや自立した学び手の育成につながっているかを確認しながら進めていきたい。
- 自分の取り組みを振り返る機会になった。
- 正解がわからないなか、参加してみて他の先生方も同じ気持ちでやられていて、その中でチャレンジしてみようと思える話し合いばかりだった
- 他校の実践というより、その背景にある思いについて聞くことが出来たため。
- 学校全体で取り組む必要がある。様々な取り組みを広げる必要がある。
- 他の先生の実践を沢山聞けて、これからの授業に取り入れていきたいと思いました。また、悩みも共有できて良かったです。
- アウトプットの間であることから、自分のこれまでの実践を振り返ることができた。
- 単元内自由度進度には抵抗がありました。実践している方は、それなりに準備や教材研究で思考錯誤しながら続けられていて、学級経営面や子どもの学び方の面で良さがあるからこそだと思ったから。

実践者で語ろう アンケート結果レポート

- 自由進度学習を進めるにあたり、まずは学級経営に力を入れることが必要なのではないかと考えていましたが、先生方のお話を聞いて、学級経営も授業も同時進行で進めていくことも可能なのではないかと感じました。今後の学校研究の参考になりました。
- 校種、実践教科、担当学年など異なる中、取り組みや課題、悩みを語り合うことができました。
- 上手くいくかどうかは分からないけど、とりあえずチャレンジしてみて、その良さを感じとって、洗練していくべきなんだと気づいた。正解はまだないことがわかったから、とりあえず実践してみないとなと思った。
- 教師の役割ややりがいについて、自分なりに納得できる答えが得られたから。
- 皆さんの取り組みが心強く、自分も頑張っていきたいと感じた。道徳でもできるのかな・・・。
- 他の学校の取り組みについて知ることができた。夏休み頃に話していた内容よりも、どの学校も取り組み内容がさらに増えていてとても学ぶことが多かった。
- 自分なりに定期的に実践を行い、生徒に委ねる授業を進んで行ってきました。今回、実践を他校種、他教科の方に聞いていただき、普段自分が行っている振り返りとは異なる視点で気づきを与えていただきました。例えば、評価や子供のみとりの部分での自分の授業の改善点が見えました。

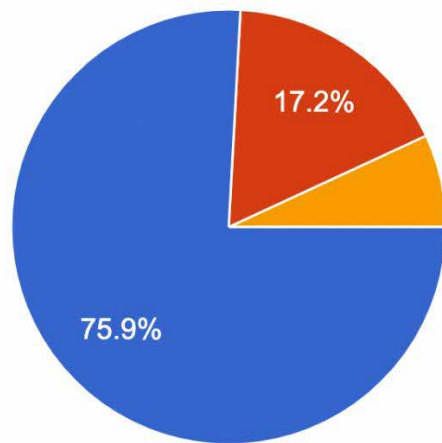
問2. 今日のワークショップは、あなたにとって意味や価値を感じる時間でしたか？

29 件の回答



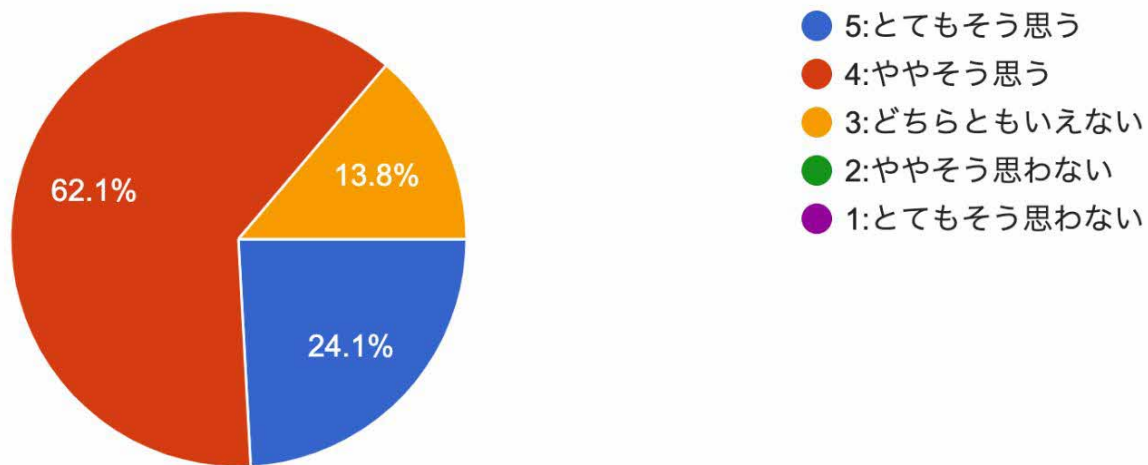
問3. 今日のワークショップに参加して、「子どもに委ねる学び」の実践にさらにチャレンジしてみようと思った

29 件の回答



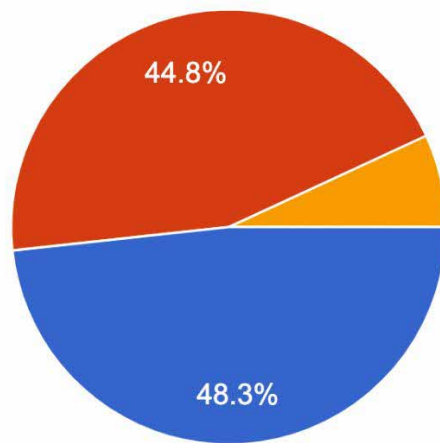
- 5:とてもそう思う
- 4:ややそう思う
- 3:どちらともいえない
- 2:ややそう思わない
- 1:とてもそう思わない

問4. 今日のワークショップに参加して、自分の「子どもに委ねる学び」の実践に自信が持てた
29 件の回答



問5. 今日のワークショップへの参加は、今後のご自身（あるいは学校）の子どもに委ねる学びの実践に役立つと感じましたか？

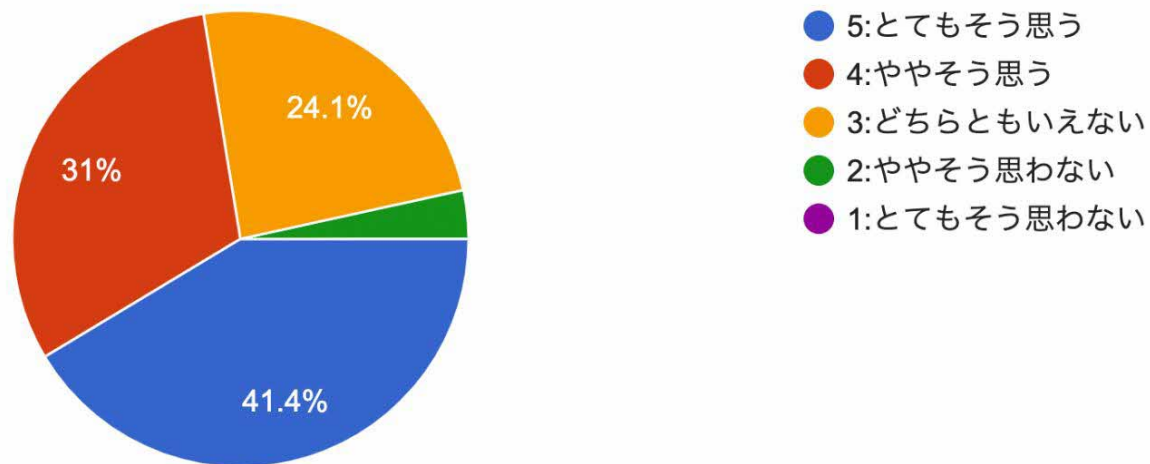
29 件の回答



- 5: とてもそう思う
- 4: ややそう思う
- 3: どちらともいえない
- 2: ややそう思わない
- 1: とてもそう思わない

問6. 今日のワークショップへの参加で学んだことを、ご自身（あるいは学校全体で）の実践に活用できると思いますか？

29 件の回答



問6-2. 上記の質問で「5:とてもそう思う」、「4:ややそう思う」と回答した方にお聞きします。
いつ、どのような形で活用できそうですか？
できるだけ具体的にお答えください

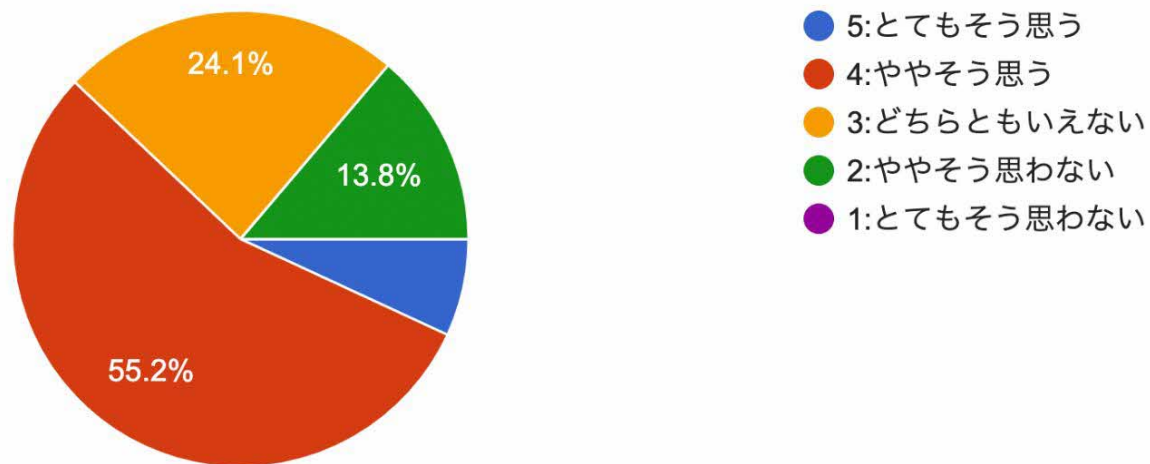
- 明日の授業から学んだことをいかしたい。
- 様々なことに戸惑う先生方に実践紹介をしたいなあとします。
- 単元を見通してつきたい力を明確にして、委ねることができるところは任せようと思ひました。
- 「どう始めようか？」と悩んでいる方もいるので、自分の実践以外の他の学年での実践なども共有し、背中を押せたらと思ひたからです。
- いろいろな実践をされた方の話を聞いて、まだ取り組んだことのないことや躊躇してたこともとりあえずやってみようと思ひたから
- 子どもとの関わり方や授業の組み立て方など様々なことが参考になった。
- もっとしている人がいるので知っていることかもしれないから
- 同じような方法で、校内でもシェアすることで「これでいいのかな」の不安を少しでも解消できそうだなと思ひます。
- 普段の自分の授業、準備の際

実践者で語ろう アンケート結果レポート

- 教科の本質を落とさずに、委ねられる時間を考えていくことを念頭において、単元構成をすること。
- 日々の授業づくりのなかで、単元構想を考えていくときに活用できそうだった。
- 学校での実践を共有する場で、心持ちの面に関して話せると感じた。やっぱり、教師がいろいろとチャレンジしながらレベルアップしていかないと子どもに語っていけないと感じたため。
- 会場で書いた付箋を木に張りましたがそれらをみて、研究主任とこれからの学校研究を相談したい。
- 授業の中で、子供達に計画を立てさせながら授業ができたかなと思いました。
- 学校研究としても取り組んでいるため、他の教員も進んで実践している。その中で、質問や相談があるため、そのときの取り組みの具体例として今日の対話を通して得た情報を発信していきたい。
- 自分や子どもの実態に合わせて変えていくこと。決まったやり方がないから。
- 小学校での実践内容を職員に共有する。
- 今までより、子どもに委ねる視点で授業づくりをすると思う。
- もう少し踏み込んだ自由進度学習に取り組む際のヒントに
- 研究の時間で、みんな取り組んでいることを広め、自信に繋げていきたい。
- 単元を見てどの部分を生徒に委ねるかを選ぶこと、生徒の見取りについて
- 自分の学校で委ねる授業の話をするときに、他の学校では、小学校では、他の教科ではという話をできるし、これからの互見授業の視点をもって取り組んでいきたいと思いました。

問7. あなたご自身は、どの程度「子どもに委ねる学び」の実践に課題や不安を感じていますか？

29 件の回答



問7-2. 上記の質問で「5:とてもそう思う」、「4:ややそう思う」と回答した方にお聞きします。

「子どもに委ねる学び」を実践する上で、ご自身が感じている課題や不安があれば、ぜひお聞かせください

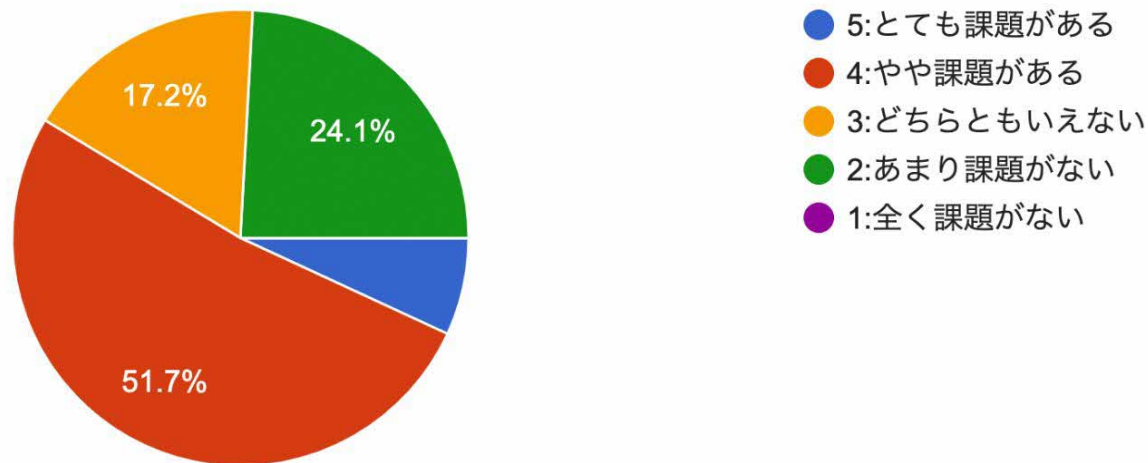
- 子どもの様子を見ながら実践を行ってはいるものの、それが果たして良いことなのかどうかをフィードバックをする場がないから。
- みとりができているかあやしい。
- 受験に本当に対応できるのかが不安である（知識の部分）
- 今までたくさん経験を積み、停滞感もある。もっと良くするにはどうすればいいかまだモヤモヤする部分もある。
- 委ねると低の子どもの支援に集中しがちで、全体の見取りがあまくなる事がある
- スプレッドシート等の作成、適用題等の準備にかかる時間
- 子どもに委ねる学びを進めるべきだが、自由進度という言葉だけが前に出てしまっており、学校内でも実践すら先生が増えてきている。教科の指導内容の深まりにつながっているのかが不安である。
- 何が正解かが、未だに明確ではないこと。
- 知識をつけさせたり英語で会話力をつけさせるときはどうしたら良いかなと思っています。
- 本当に学べているか

実践者で語ろう アンケート結果レポート

- 学級経営が、なかなか上手くいかない場合、どのように取り組めばよいか悩むことが多い。
- 個人的にというより、この学習を他の先生に推進することに対して不安を感じている。やはり「学力面は？」「準備は大変なの？」と聞かれることが多いので。
- 自分のやり方が委ねる学びの実践といえるのか？正解はないと言われますが、一番気になる場所です。
- 意欲のない子たちが集まったときに、一斉より学ぼうとしないことが気になっていて、そこには、厳しさが必要なのかなとか、一回一回注意したりしないといけないのがちょっと嫌な部分。
- 学力の定着や向上、児童の進度の差をどのように埋めるか。
- とてもやりがいを感じる。達成感も感じている。なのでこれからも実践を重ねていきたい。しかし、取り組む中でもさらに教科の本質意識したい思いがある。教科によって、どのように取り組んでいくか、どの単元のどの部分が適しているか見極めていきたい。ICTの活用ももっといい方法があるのではないかと考えているので、探していきたい。子どもたちにも自分たちが身につけている力を実感できるようにしてあげたい。
- 委ねる部分を厳選することが大切、学校全体で取り組んでいくときに意図をもって取り組めるようにしていきたい、「これでいいのかな？」と悩んだとき
- 授業準備に時間がかかることが心配です。授業実践や作成した教材を加賀市の先生間で気軽に共有できるシステムがあったらいいなと思います。

問8. あなたの学校は「子どもに委ねる学び」の実践を学校全体で推進する上で、どの程度の課題があると思いますか？

29 件の回答



問8-2. 上記の質問で「5:とても課題がある」「4:やや課題がある」と回答した方にお聞きします。「子どもに委ねる学び」の実践を学校全体で推進する上で、どのような課題を感じていますか？できるだけ具体的にお答えください。

- 児童の実態や教員の技量、教員のタイプによってやり方やフォローの仕方が違うと思うので難しいと思いました。
- 取り組みの全体共有が出来ていないからです。
- 先生方の取り組みに差があるように感じるのと、学校としての方向性や取り組みがまだ定まっていないような気がするから
- グループづくり（仲の良いメンバーで集まったり）や生徒の学力がついていくのか、不安に思う先生がいる
- 発達段階でできることやできないことがあるので学校全体で取り組むことには課題を感じる。また、教員間でも様々な意見があるのでその点でも課題を感じる。
- 単なる「子どもに委ねること」ととらえてはいけないと思います。子どもに任せたら楽、なのではなく、つぶさに見取ったり、手立てを打ったり、学級経営に活かしたりすることの大切さを全体で共有することが大切だと思います。学校研究などできちんと共有できた上で始めなくてはいけないのでは？と少し怖さを感じています。

実践者で語ろう アンケート結果レポート

- 先生によって取り組み方にかなりばらつきがある。学校全体で足並みをそろえないと子どもが混乱すると思う
- 職員全員が同じ方向で、実践を積み上げないといけないこと、それを自分が推進していく立場であること。
- 学級経営の大切さ子どもたちと先生との信頼関係...など。
- 先生方同士でうまく共有していけるかが
- 下の学年からどんどんと実践できる環境作りが必要だと感じた。
- 今年度は、個別最適な学びを 1 時間の中で推進してきたが、その他のやり方も検討する必要があると感じた。他校の実践から学ぶ必要を感じた。
- "教科による取り組みやすさの違い。→各教科ごとにわかれて情報交換をした方が特に中学校の先生にとっては進みやすいと思う。
- 子ども教員ともに学習方法に慣れが必要だという点。→研修を重ねて自信をつけていく必要性。"
- 全体的に若手が多いため、自由進度学習の経験が浅く、自分自身のやり方に自信が持てていない。また、普段の授業について、実践中、もしくは実践後の情報共有があまりできていない。
- 個人的にというより、この学習を他の先生に推進することに対して不安を感じている。やはり「学力面は？」「準備は大変なの？」と聞かれることが多いので。

実践者で語ろう アンケート結果レポート

- 学校全体で取り組みや実践に向けた共通理解やそれこそ語る場が必要だと思う。
- みんなまだ実践しようとしていない感じがする。（授業準備に時間をさけていない先生が多いのと、個別最適の良さを感じ取れていない先生が多いから）だから、色々チャレンジしてみて、広げていかないとと思う。
- 発達段階の差、クラスの学びの姿や意欲の差

2/16 分校小学校 対話の時間アンケート結果

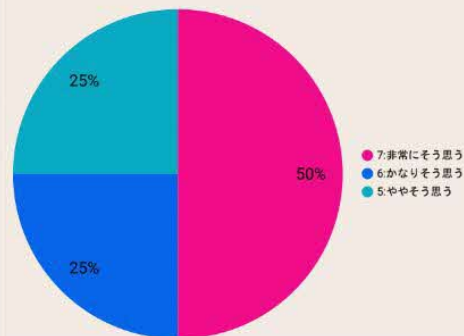
学校の話しよう

分校小学校対話の時間 アンケート結果

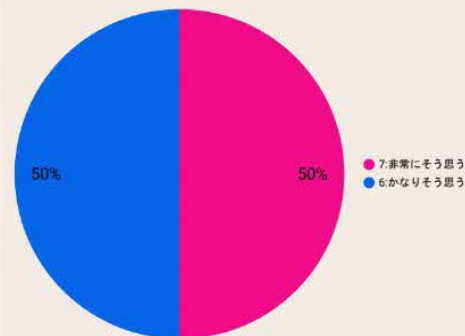
対話の時間リフレクションシート回答レポート BNG

実施日：2024/2/16

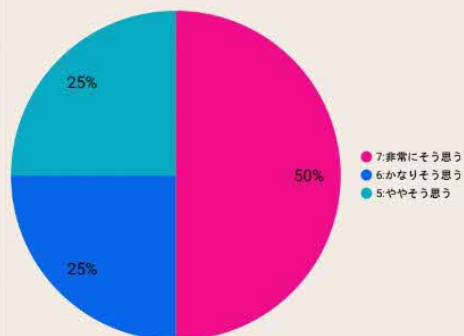
①あなたは、今日の対話の時間で、思っていることを率直に話すことができましたか？



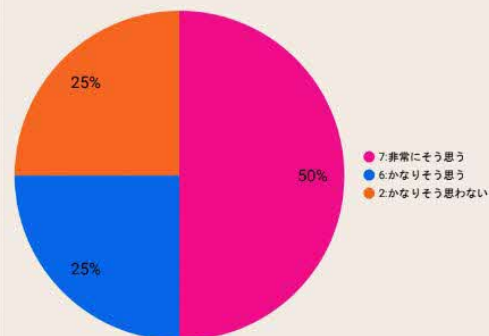
②あなたは、今日の対話の時間で、相手の言葉の奥にある、その人の価値観や想いに耳を傾けることができましたか？



③今日の対話の時間はあなたにとって、意味や価値を感じる時間でしたか？



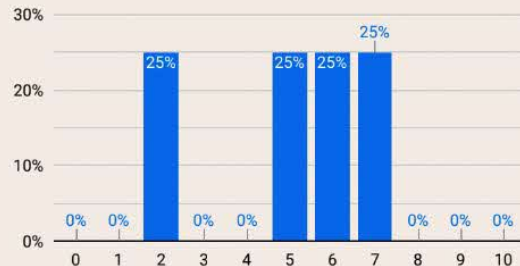
④今日の対話の時間で得たことを、自分の仕事で活用できると思う



分校小学校対話の時間 アンケート結果

対話の時間リフレクションシート回答レポートBNG

⑤あなたの学校は学校教育目標に向けて協働するチームとして、今のくらいの状態だと思いますか？
あなたにとって最高の状態を10としてお答えください。（最悪な状態：0～最高の状態：10、として
該当する数字1つを選択してください。）



分校小学校対話の時間 アンケート結果

対話の時間リフレクションシート回答レポート BNG

「今日の対話の時間はあなたにとって、意味や価値を感じる時間でしたか？」の質問についてきらにお聞きます。
具体的にどのような価値や意味を感じられましたか、あるいは感じられませんでしたか？なぜそう思うのかも合わせてお聞かせください。

相手の思いを聞けたから

対話の4ステップで、自分の気持ちやグループの雰囲気が変化が感じられました。

具体的に4つのパターンで対話してみたことがとても貴重な体験となったから。

4つのパターンを体験することができて、それぞれの違いが本当に身をもって実感できました。対話の大切さ、うれしさ、安心感を感じることができたのが、わたしにとってとても価値ある時間になりました。

分校小学校対話の時間 アンケート結果

対話の時間リフレクシオンシート回答レポート BNG

今日の「対話の時間」に参加して、どのような気づきや発見、学びがありましたか？
もしあれば、できるだけ具体的にお願いします。

自分の意見に、たとえ反対だったとしても、一度ちゃんと受け入れてもらえることが、こんなにうれしく、安心できるとは思っていませんでした。

宿題についての新たな価値観に触れた。

子供を信じたら思いを尊重したりすることがとても大事だとおもった。

会話と対話の違いがわかりました。対話によって関係性がかわることに気づきました。

分校小学校対話の時間 アンケート結果

対話の時間リフレクションシート回答レポート BNG

今日の対話での学びや気づきを日々の子どもたちとの関わりや先生との関わりの中で活用できましたか？
もし活かすことができたことがあれば、どのような学びや気づきを、どう活かすことができたのか教えてください。

話し合い、対話をするときに目的を共有→具体的にどのような言葉で伝えとよいのか、児童に伝えていきたいです。

子どもたちが今どんな段階の話し合いをしているのか、客観的に判断できるようになったと思います。すべき支援がわかるようになりました。

今回初めて学んだので今後生かしていきたいです。

→

分校小学校対話の時間 アンケート結果

対話の時間リフレクションシート回答レポート BNG

今後、対話の時間で話してみたいテーマがあればお聞かせください。

教師の役割

今日の4番のような対話ができるようになるための具体的な方法。

無断複製等禁止について

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、NPO法人学校の話をしてしようが実施した令和4年度教員研修の高度化に資するモデル開発事業の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続きが必要です。